

【予算案等提案理由】

続いて、今回提案いたしました新年度予算案について申し上げます。

一般会計のほか、8件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、本市の厳しい財政状況を考慮しつつ、予算を編成したところであります。

まず、歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、経済活動は徐々に持ち直しの動きが見られ、市税は一定の回復が見込まれるものの、地方交付税は、人口減少の影響等により減少傾向が続いており、一般財源の総額が対前年度で2億5千4百万円余の減収を見込む、大変厳しい内容となりました。

このような状況を踏まえ、新年度の予算編成にあたりましては、「中期財政運営方針」に掲げる財政健全化の取り組みを継続し、公共施設の適正化や、行政のデジタル化等の行財政改革を積極的に推進するとともに、国の令和3年度補正予算を活用した事業の前倒し、投資的事業の繰延べ、平準化などにより、予算総額の縮減と収支不足の圧縮に努めたところであります。

「第2次大田市総合計画」に掲げた将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」の実現に向けた施策につきましては、引き続き、重点配分いたしております。

この結果、一般会計当初予算の総額は、対前年度12億3千万円、5.0%減の、231億7千万円としたところであります。

主な事業としては、運転免許更新の負担解消に向けて新たに着手する「高齢者講習施設新規整備事業」、令和5年4月の供用開始を予定する「し尿処理施設改修事業」及び「消防通信指令システム更新整備事業」、人口減少に歯止めをかけるため

の「中心市街地活性化事業」及び「帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細やかな支援事業」、市役所本庁舎の整備検討に向けた「庁舎整備事業」、デジタル技術を活用した行政サービスへの転換を図る「行政手続オンライン化推進事業」等であります。

このほか、産業振興や定住施策、出産・子育て施策や大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保につきましても、継続して取り組んでまいります。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等につきましては、その対応調書を本日、お手元に配布いたしております。

次に、令和３年度の補正予算案につきましては、一般会計のほか、６件の特別会計、３件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計補正予算につきましては、総額２億１千９百万円余を増額するものであります。

国の令和３年度補正予算を活用し、ワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策事業等を計上する一方、各種事業の実績減を計上しており、補正後の一般会計の予算総額は、２７５億３千２百万円余となります。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案につきまして、本会議へ提案いたしております。詳細につきましては、それぞれ担当部課長に説明させますので、十分にご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。